

3Dイメージで化学状態を分析する装置を開発 株式会社東京インストルメンツ

開発の経緯

- 新光学設計により、感度を10倍以上にアップした3D顕微ナノラマン装置で、サブミクロン～ナノメートル領域の物質の化学状態を3次元計測できる日本発・世界初の分析装置を開発しました。

3D顕微ナノラマン装置



製品の特長

<製品名: Nanofinder®30>

- 形状と物性、化学分析の3機能イメージを同時に測定することができます。
- 堅牢な設計により、機械的安定度が向上。機械による歪みが激減しました。
- 全ての機能をPCより制御することができ、再調整は不要です。
- 従来の測定機器に比べ、測定時間を大幅に短縮しました。

適用分野

- 従来の形状観察のみならず、蛍光、ラマン分光等により物質(分子)の識別を非破壊で行えるため、生細胞、医学分野で医学関連のDNA、蛋白質、組織検査などに使用できます。
- 半導体において、エレクトロニクスノイズの異物、応力、構造検査などに使用できます。
- 本製品を研究、開発向けとして販売展開した上で、将来、生産ライン検査工程に導入することを視野に入れています。

会社情報

企業名:株式会社東京インストルメンツ

住所:東京都江戸川区西葛西6丁目18番14号

電話:03-3686-4711

資本金:9,900万円

事業概要:オプトエレクトロニクス製品の開発、設計及び応用システムの製造販売、

オプトエレクトロニクス製品、計測機器の輸出入と販売、研究開発

代表者:駿河正次

URL:<http://www.tokyoinst.co.jp/>

設立:昭和56年8月

従業員数:47名

SBIR補助金等概要

SBIR補助金等名:研究成果最適移転事業のうちプログラムB(独創モデル化)(平成14年度)

交付機関:独立行政法人科学技術振興機構(JST) <http://www.jst.go.jp/>

採択テーマ:新方式ナノ空間分解能顕微分光装置